

# 平成30年度「技能検定」の 実施状況を公表します

〔新たに約32万人が「技能士」に〕

厚生労働省ではこのほど、平成30年度「技能検定」の実施状況をまとめましたので、公表します。その結果、平成30年度の受検申請者数の合計は80万7,287人で、前年度に比べ2万3,239人(3・0%)増加し、合格者数は32万4,074人となりました。

技能検定制度は、働く上で身につけるべき、または必要とされる技能の程度を国が証明するもので、現在130職種で実施しています。この検定に合格した人だけが「技能士」を名乗ることができ、昭和34年度の



## 技能検定制度について

### 1 概要

技能検定制度は、労働者の有する技能の程度を検定し、これを公証する国家検定制度であり、労働者の技能と地位の向上を図ることを目的に、職業能力開発促進法に基づき行われているものです。

本制度は、昭和34年度から実施され、平成30年度には全国で約80万人の受検申請があり、約32万人が合格しています。技能検定制度開始からの累計では、延べ約697万人が技能士となっています。

### 2 実施内容

技能検定は、厚生労働大臣が、厚生労働省令で定める職種ごとに等級に区分して、実技試験及び学科試験により行っています。

職種は、令和元年8月1日現在130職種です。これらについては、時代のニーズに合ったものとなるよう、職種・作業の新設・統廃合、試験基準の見直し等を毎年行っています。

等級区分は、職種により、①等級に区分するもの(特級、1級、2級、3級及び基礎級)と、②等級に区分しないもの(単一等級)とがあります。

### 3 実施体制

厚生労働大臣が定める実施計画に基づき、都道府県知事が技能検定を実施し、中央職業能力開発協会が試験問題の作成を行っています。なお、都道府県知事の行う業務のうち、技能検定受検申請書の受付、試験の実施等の業務は都道府県職業能力開発協会が行っています。

また、ファイナンシャル・プランニング等19職種については、当該職種に関連する民間機関が指定試験機関として指定を受け、技能検定の試験業務を行うこととなっています。

### 4 技能検定の合格者

技能検定に合格した者は、技能士と称することができます。特級、1級及び単一等級の技能検定の合格者に対しては厚生労働大臣名の、その他の等級の技能検定の合格者に対しては都道府県知事名又は指定試験機関の長名の合格証書が交付されます。

## 平成30年度の実施状況の概要

- 受検申請者数の合計は80万7,287人で、前年度比で2万3,239人(3・0%)の増加【図1参照】
- 合格者数の合計は32万4,074人で、前年度比で4,704人(1・4%)の減少【図1参照】
- 合格率は40・1%と前年度(41・9%)とほぼ同水準【図1参照】
- 制度創設当初からの合格者数の累計は、697万4,056人【図2参照】
- 職種別に見ると、最も受検申請者数が多い職種はファイナンシャル・プランニングで45万1,804人【図3参照】
- 等級別に見ると、最も受検申請者数が多い等級は2級(中級相当)で、32万8,968人【図4参照】

■図1 等級別の実施状況（平成30年度）

等級 (技能検定の合格に必要な技能及び知識)	受検申請者数 (前年度比)	合格者数 (前年度比)	合格率 (前年度)
特級 (管理者又は監督者に必要な技能及び知識)	5,288人 (+1.0%)	1,657人 (+43.0%)	31.3% (22.1%)
1級 (上級の技能労働者に必要な技能及び知識)	93,361人 (-0.3%)	29,473人 (-3.7%)	31.6% (32.7%)
2級 (中級の技能労働者に必要な技能及び知識)	328,968人 (-1.6%)	89,740人 (-6.1%)	27.3% (28.6%)
3級 (初級の技能労働者に必要な技能及び知識)	267,029人 (-1.0%)	125,612人 (-7.2%)	47.0% (50.2%)
随時3級 (技能実習生を対象とし、初級の技能労働者に必要な技能及び知識)	39,384人 (+184.7%)	11,618人 (+102.0%)	29.5% (41.6%)
単一等級 (等級に区分していない職種で、1級相当の技能及び知識)	3,237人 (-23.8%)	1,576人 (-33.5%)	48.7% (55.8%)
基礎級 (技能実習生を対象とし、基本的な業務を遂行するために必要な技能及び知識)	70,020人 (+11.0%)	64,398人 (+11.1%)	92.0% (91.4%)
合計	807,287人 (+3.0%)	324,074人 (-1.4%)	40.1% (41.9%)

※1 技能検定は学科試験と実技試験により行われ、受検申請者数について、当該年度に同時に両試験に申請した者は、1名として計上している。例外として、学科試験の合格が実技試験の受検要件となっているため、両試験を同時に申請できない一部の職種(ファイナンシャル・プランニング1級、金融窓口サービス1級、知的財産管理1級、接客販売1級及び2級、フィットネスクラブ・マネジメン1級)については、学科試験と実技試験の受検申請者数の合計を計上している(以下同じ)。

※2 基礎級については、平成29年度以前の実績においては、基礎1・2級を含む(以下同じ)。

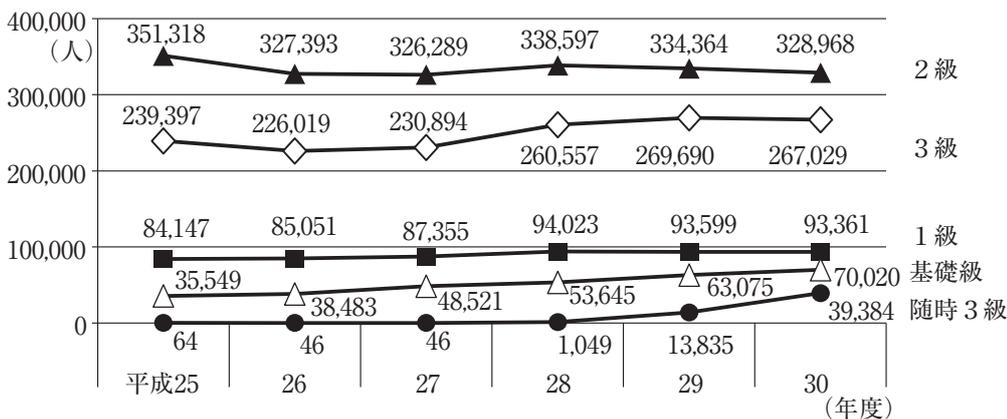
■図2 昭和34年(制度創設当初)からの受検申請・合格者数(累計)

(人)	(年度)	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
受検申請者数		13,131,851	13,820,426	14,526,570	15,283,950	16,067,998	16,875,285
合格者数		5,467,723	5,742,979	6,017,660	6,321,204	6,649,982	6,974,056

■図3 等級別受検申請者数の多い職種(全等級合計・上位5職種)

職種名	受検申請者数(人)	前年度比	合格者数(人)	前年度比
ファイナンシャル・プランニング	451,804	-3.4%	133,210	-12.7%
機械保全	37,072	+4.5%	10,030	-16.7%
機械加工	24,418	+10.1%	14,965	+7.1%
知的財産管理	17,714	-0.8%	8,223	-3.2%
機械検査	17,384	+14.3%	10,097	+7.9%

■図4 受検申請者数の推移(1級、2級、3級、随時3級及び基礎級)



技能検定関連の情報は、ポータルサイト「技のとびら」でご覧いただけます。  
<http://www.waza.javada.or.jp/>

出典：「平成30年度『技能検定』実施状況」